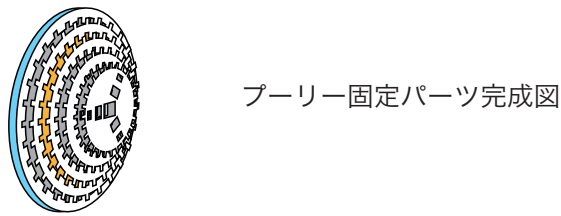
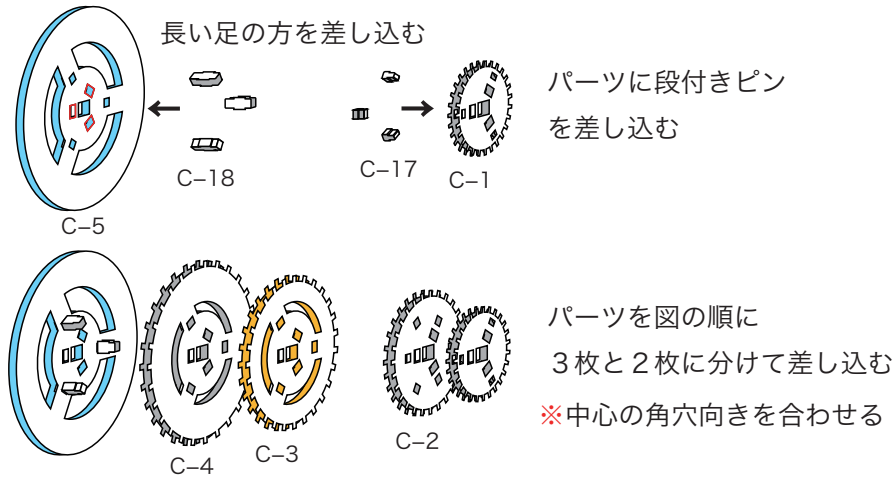
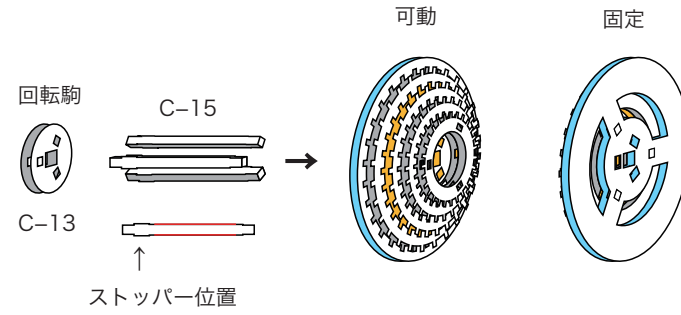
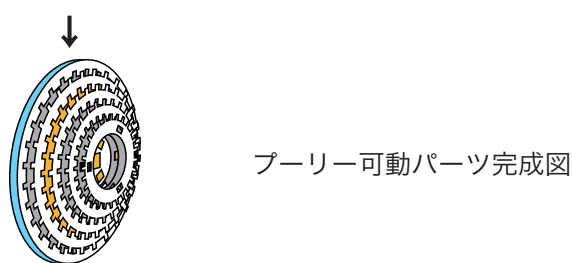
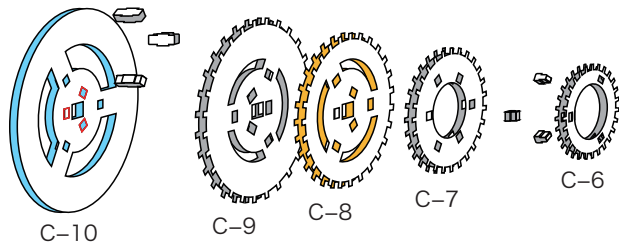


プーリーの組立て

プーリーは可動パーツと固定パーツの対で成り立ちます
図の赤枠の角穴が大きい方が固定パーツです

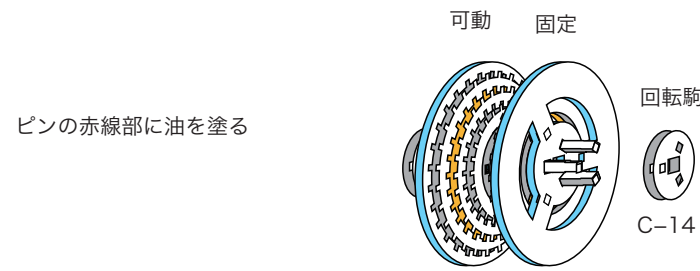


赤枠角穴の小さい可動パーツも同様に組立てます



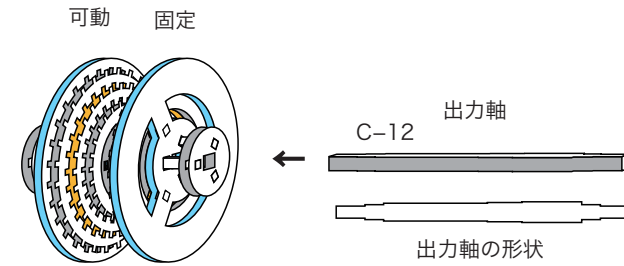
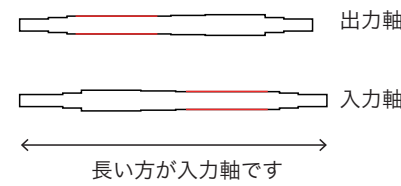
回転駒 C-13 にスライドピンの太い側を差し込み
ピンは図のように可動パーツの裏側から3本差し込む
固いときは折れない様に注意しながら当る所まで軽く叩き込む

※注 回転駒 C-13 と C-14 は中心の角穴の大きさが違います

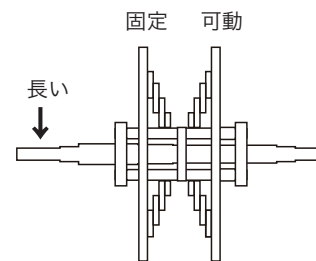
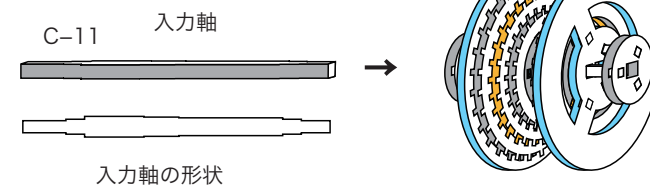


プーリー固定パーツも貫通したピンに回転駒 C-14 を差し込み、これを2セット作る

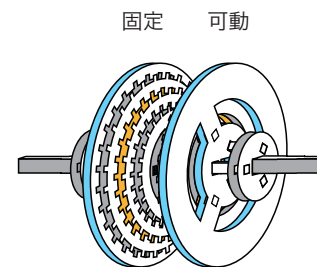
※重要 この段階では可動と固定の動きが見かけ上逆になりますが、完成時は軸に対して可動と固定の動きになります



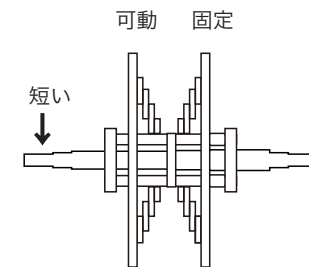
出力軸と入力軸はどちらも固定側から差し込む
固いときは折れない様に注意しながら当る所まで軽く叩き込む



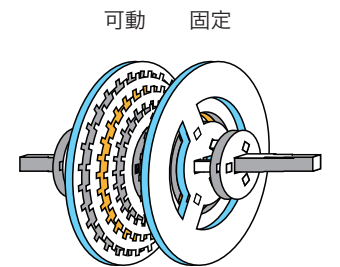
入力軸プーリー断面図



入力軸プーリー完成図

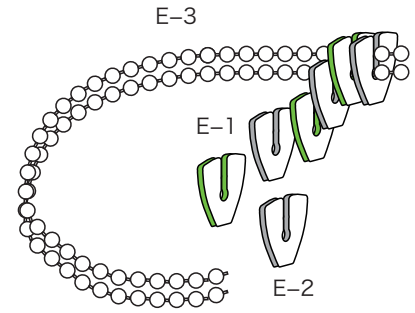


出力軸プーリー断面図



出力軸プーリー完成図

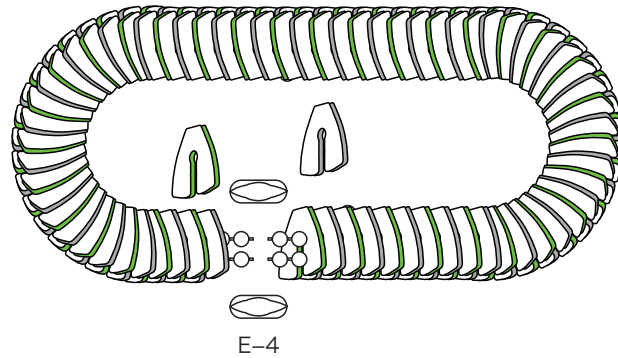
プーリーユニットの組立て



色は交互にはめ込む

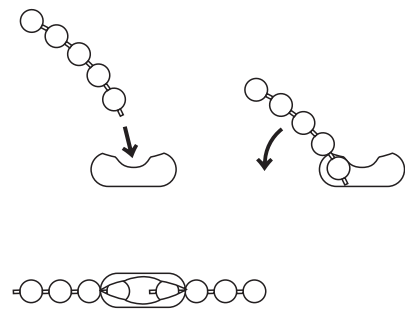
Vベルトはボールチェーンの隙間に
ハート形パーツの溝をはめ込む
チェーンは2列で確実に奥まで差し込む

透明とグリーン各色 35枚ずつ計70枚で一周の
リングになります



E-4

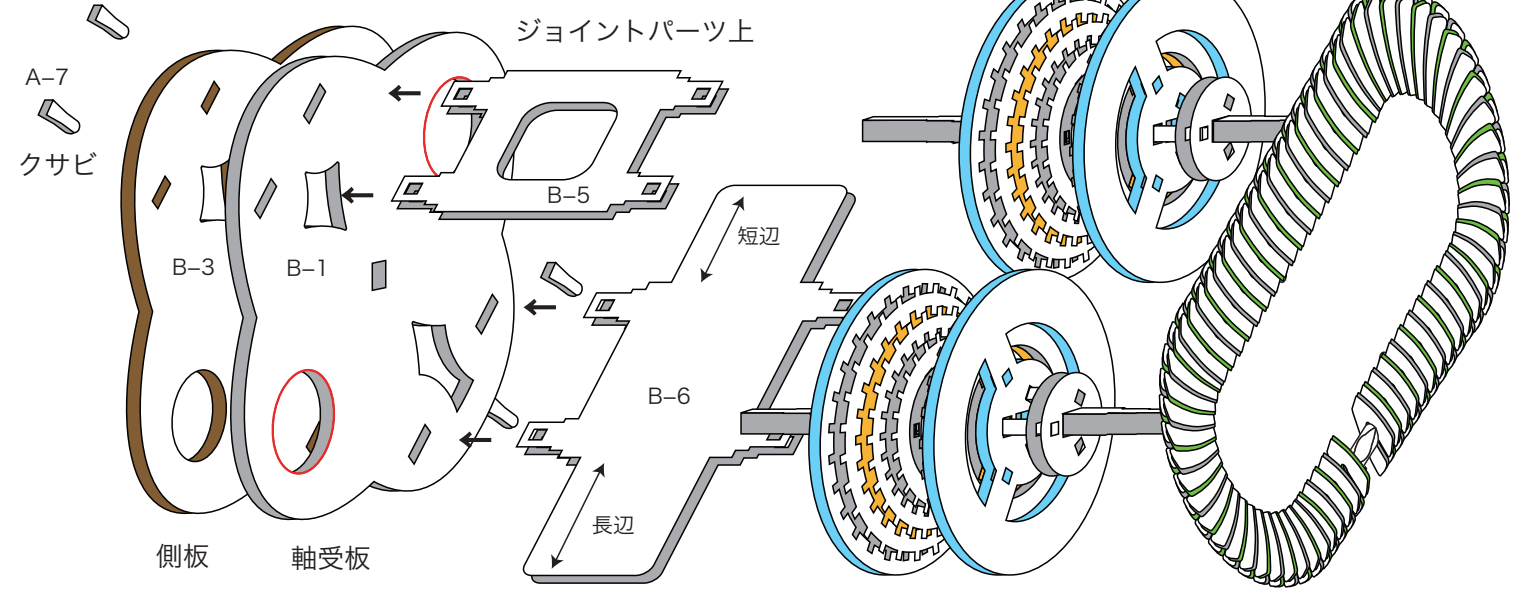
一部のハート形パーツは
コネクタでチェーンをリング状に
連結してから最後に数枚をはめ込む



ボールチェーンの連結は
ボールの先端をコネクタの穴に
縦に差し込み引きながら水平に倒す

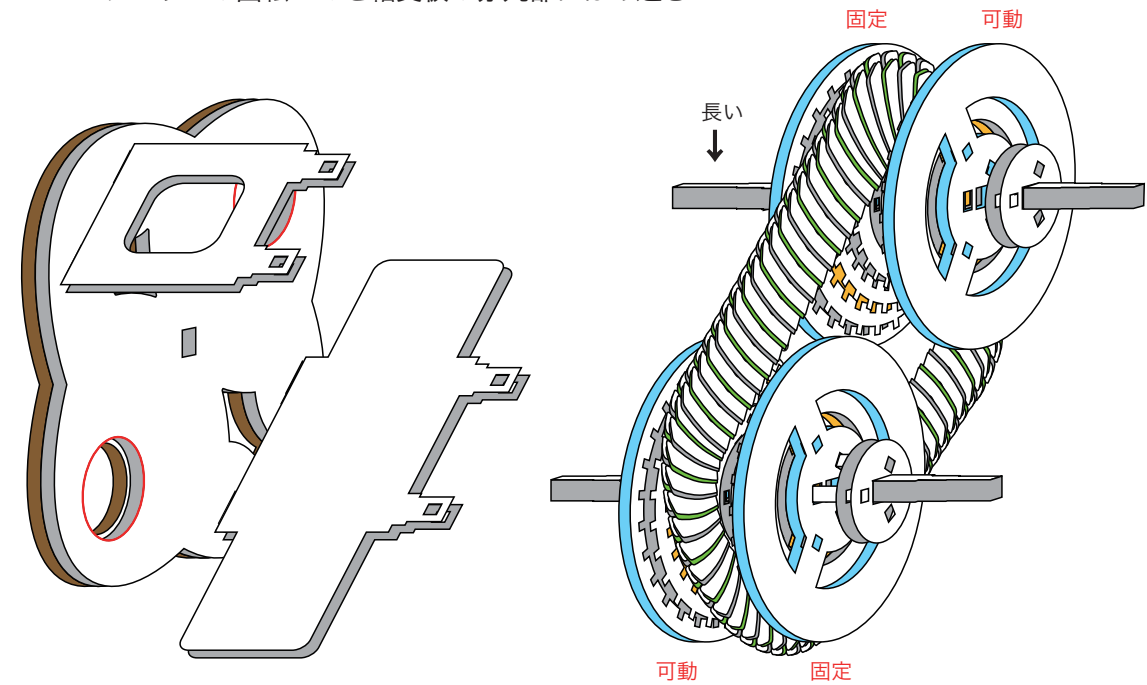
図の赤いリングの部分にマシン油などの潤滑油を塗ると滑らかな回転を得る事が出来ます。
綿棒などを使って内側に最小限の量を塗布すると美しく仕上がります。

1 軸受け板1と側板にジョイントパーツを差し込みクサビで固定する
プーリーに予めVベルトを掛けておく
クサビは下向きに差し込む



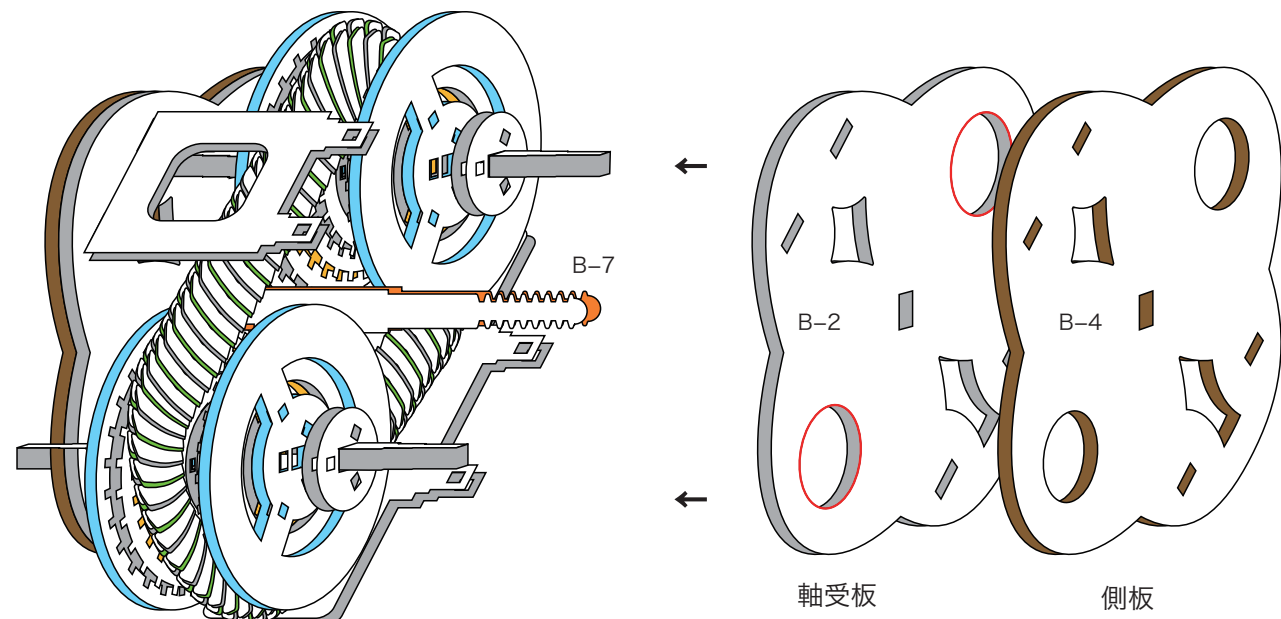
ジョイントパーツ下
ジョイントパーツ下は長辺を下向きにセットする

2 軸受け板にVベルトを掛けたプーリーを出力軸を上段、入力軸を下段にセットする
プーリーの回転コマを軸受け板の赤丸部にはめ込む

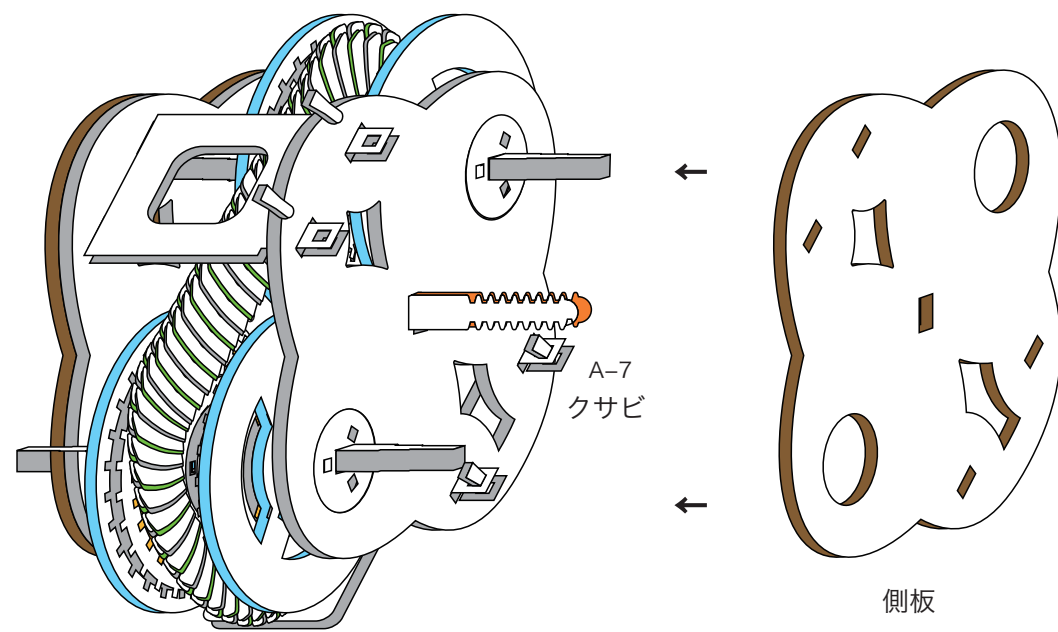


※重要 プーリーの可動、固定の向きを図の通りにセットする

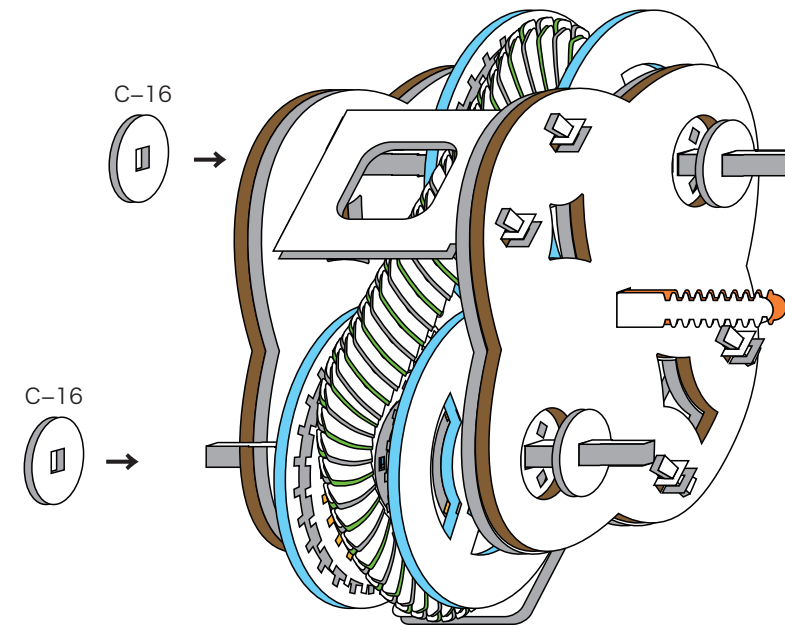
3 連結アームの先をセンターの穴に差し込み
一方の軸受板に各パーツの突起部を穴に合わせて差し込む



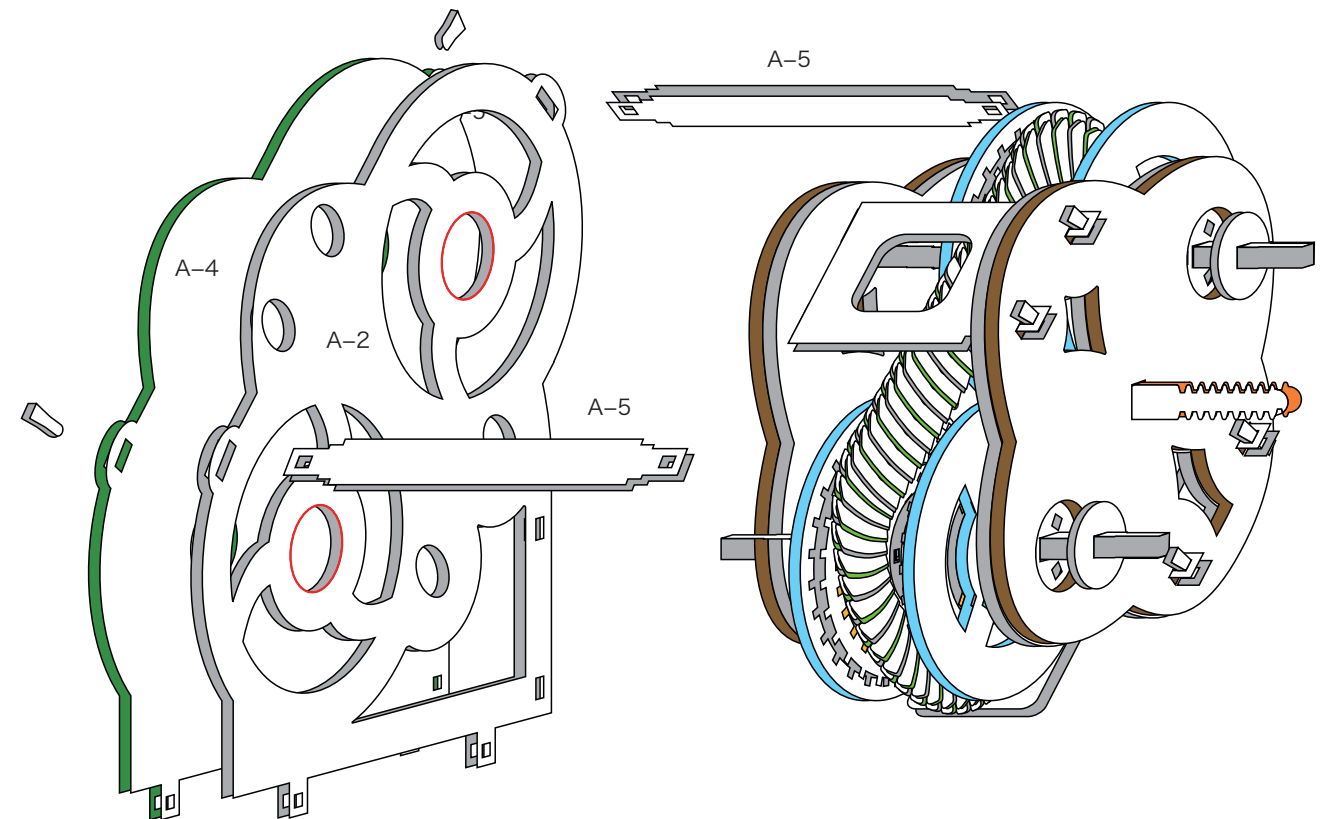
4 最後に側板をセットしクサビで固定するとプーリーユニットの完成です



5 完成したプーリーユニットの各軸に軸固定コマを取付ける (4カ所)
コマは当る所まで差し込む

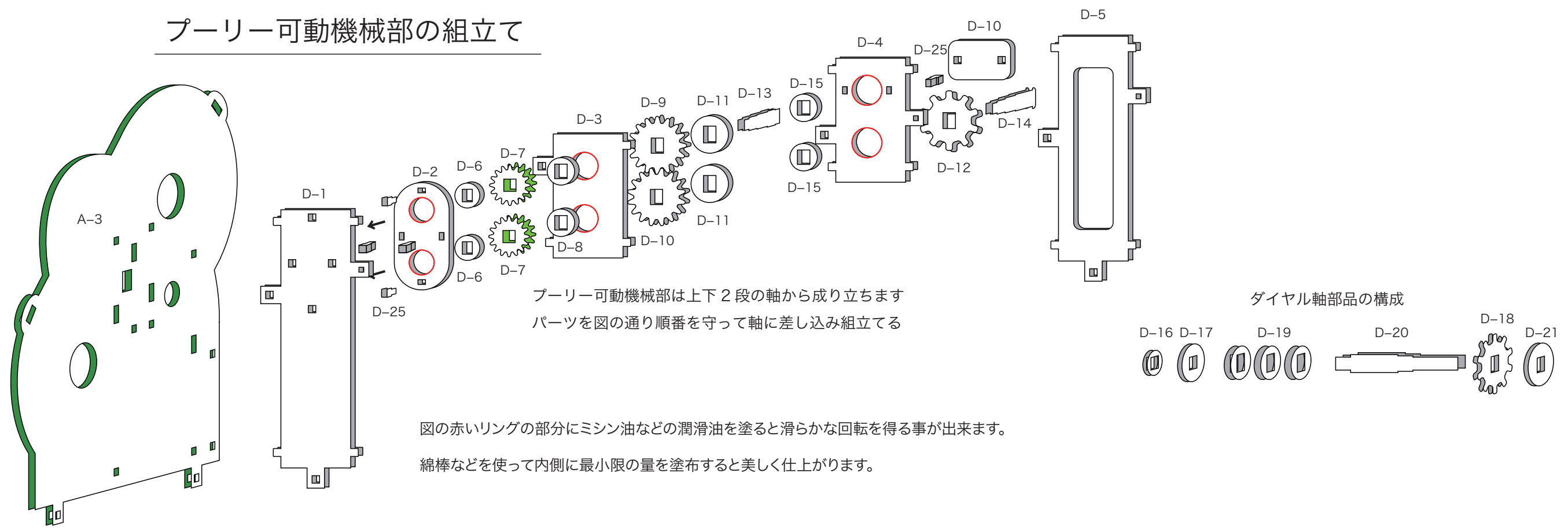


6 筐体の側板と軸受板にジョイントパーツを差し込みクサビで固定し、
その後プーリーユニットの軸固定コマを赤丸部にはめ込む様にセットする



プーリー可動機械部の組立て

7

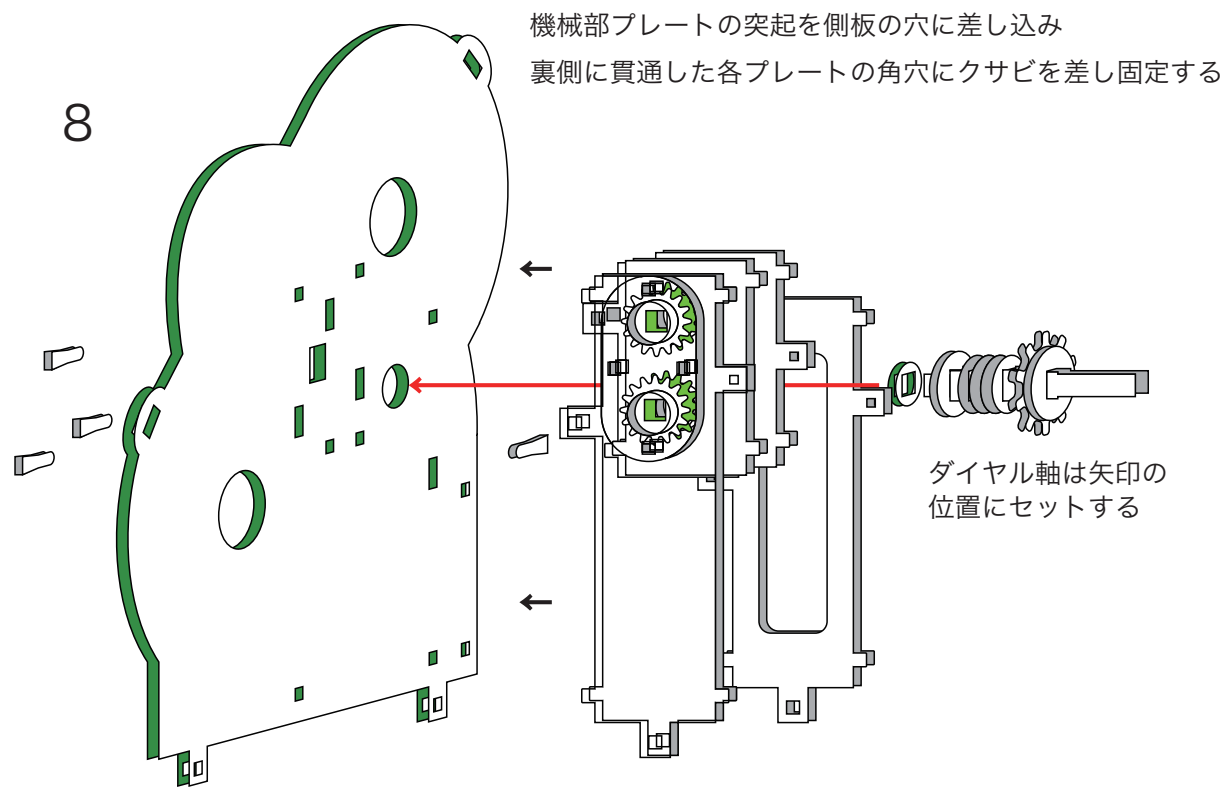


プーリー可動機械部は上下2段の軸から成り立ちます
 パーツを図の通り順番を守って軸に差し込み組立てる

図の赤いリングの部分にマシン油などの潤滑油を塗ると滑らかな回転を得る事が出来ます。
 綿棒などを使って内側に最小限の量を塗布すると美しく仕上がります。

先に組立てておいた筐体とプーリーユニットに対する筐体軸受け板をセットする

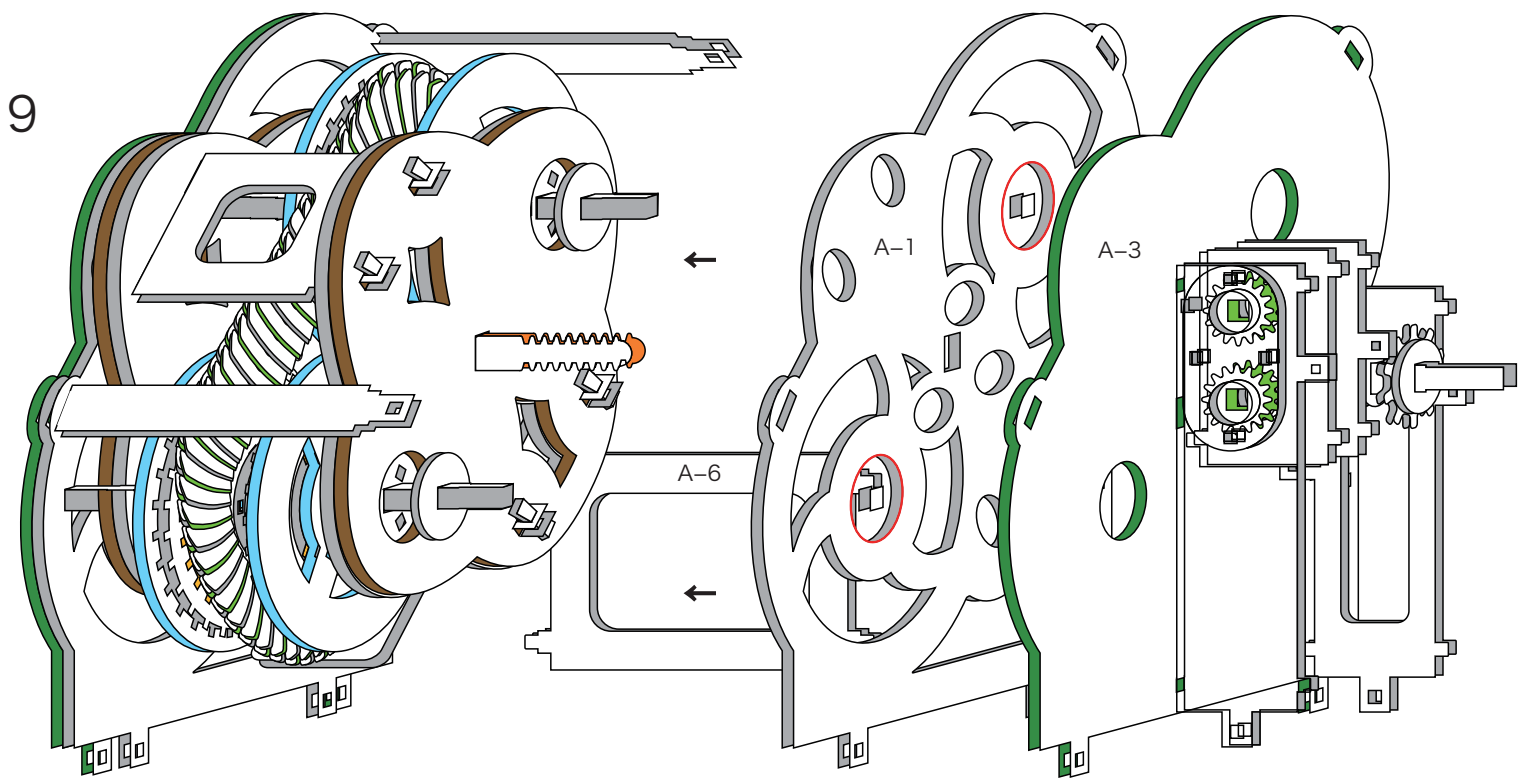
8



機械部プレートの突起を側板の穴に差し込み
 裏側に貫通した各プレートの角穴にクサビを差し固定する

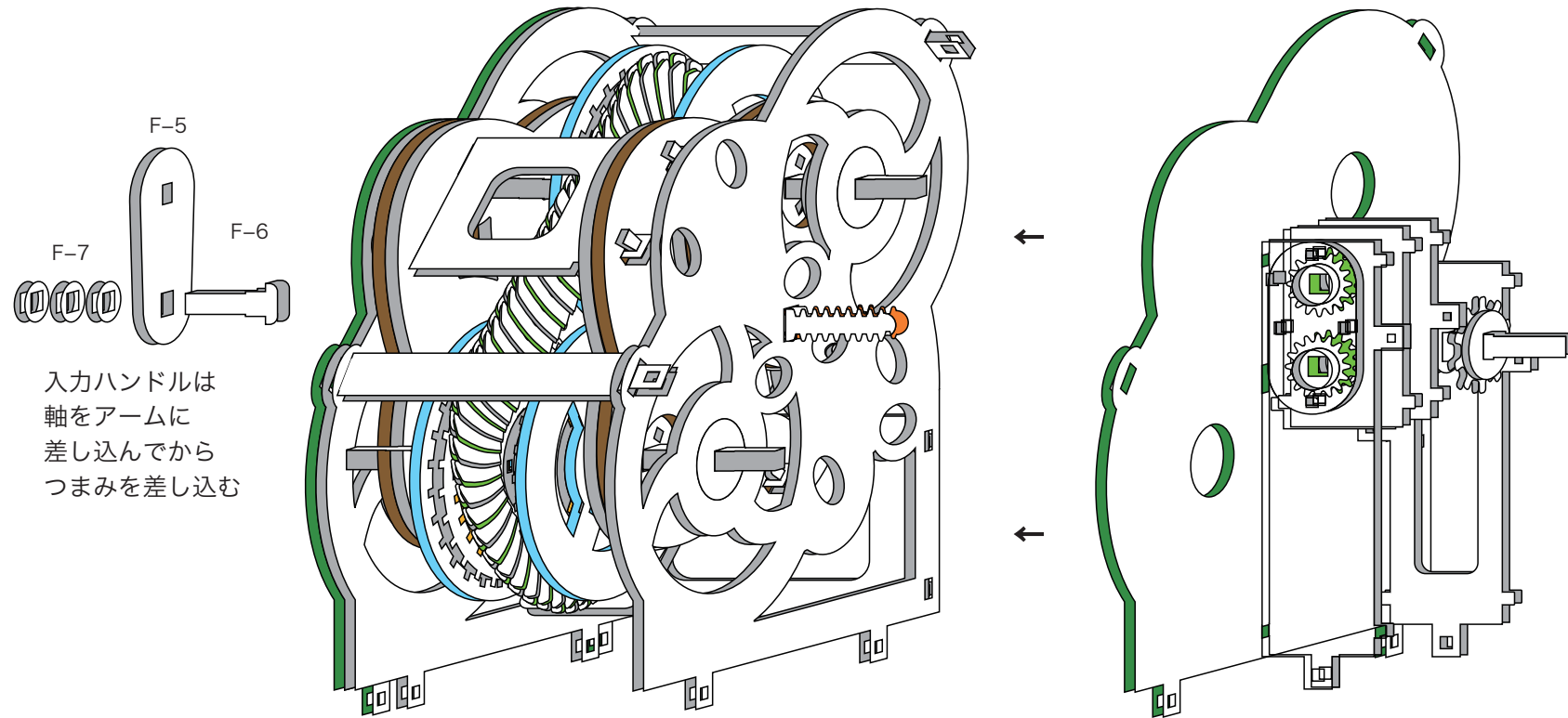
ダイヤル軸は矢印の位置にセットする

9



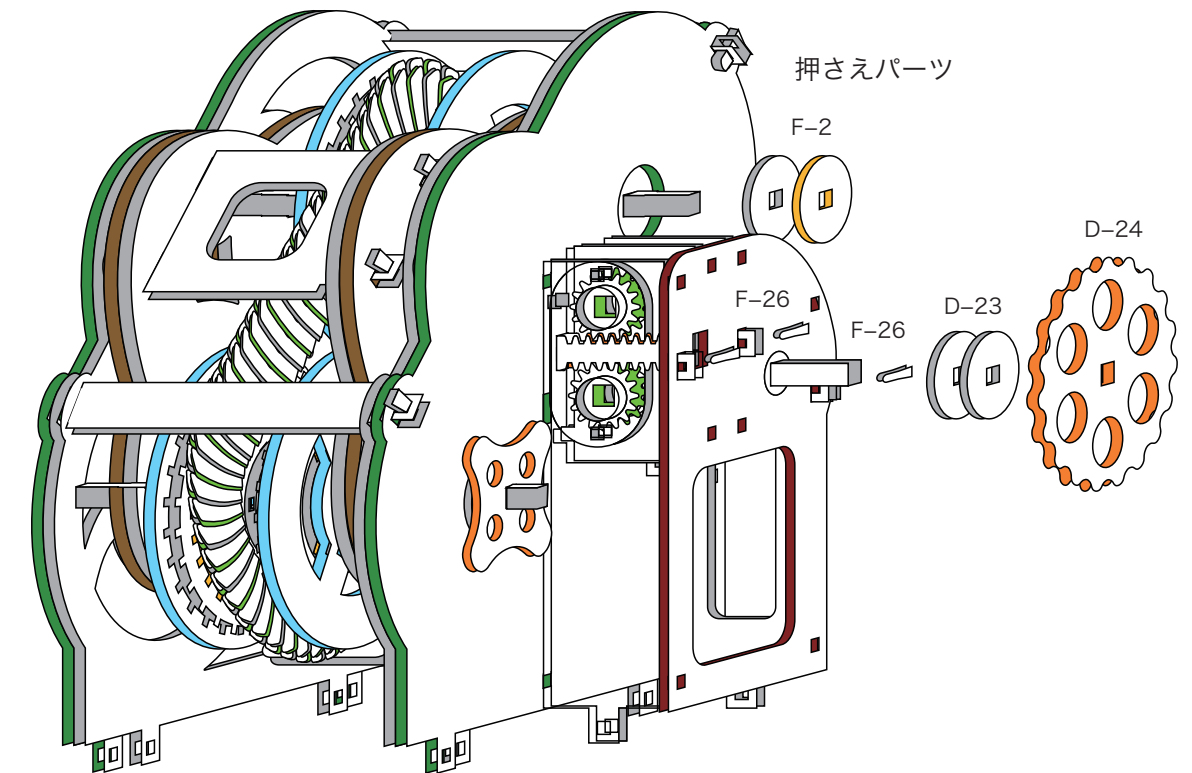
10

筐体側板に組込んだ機械部をセットする時、本体から飛び出す
連結アームのピニオンギア部を機械部のギアに噛み合う様に滑らして差し込む



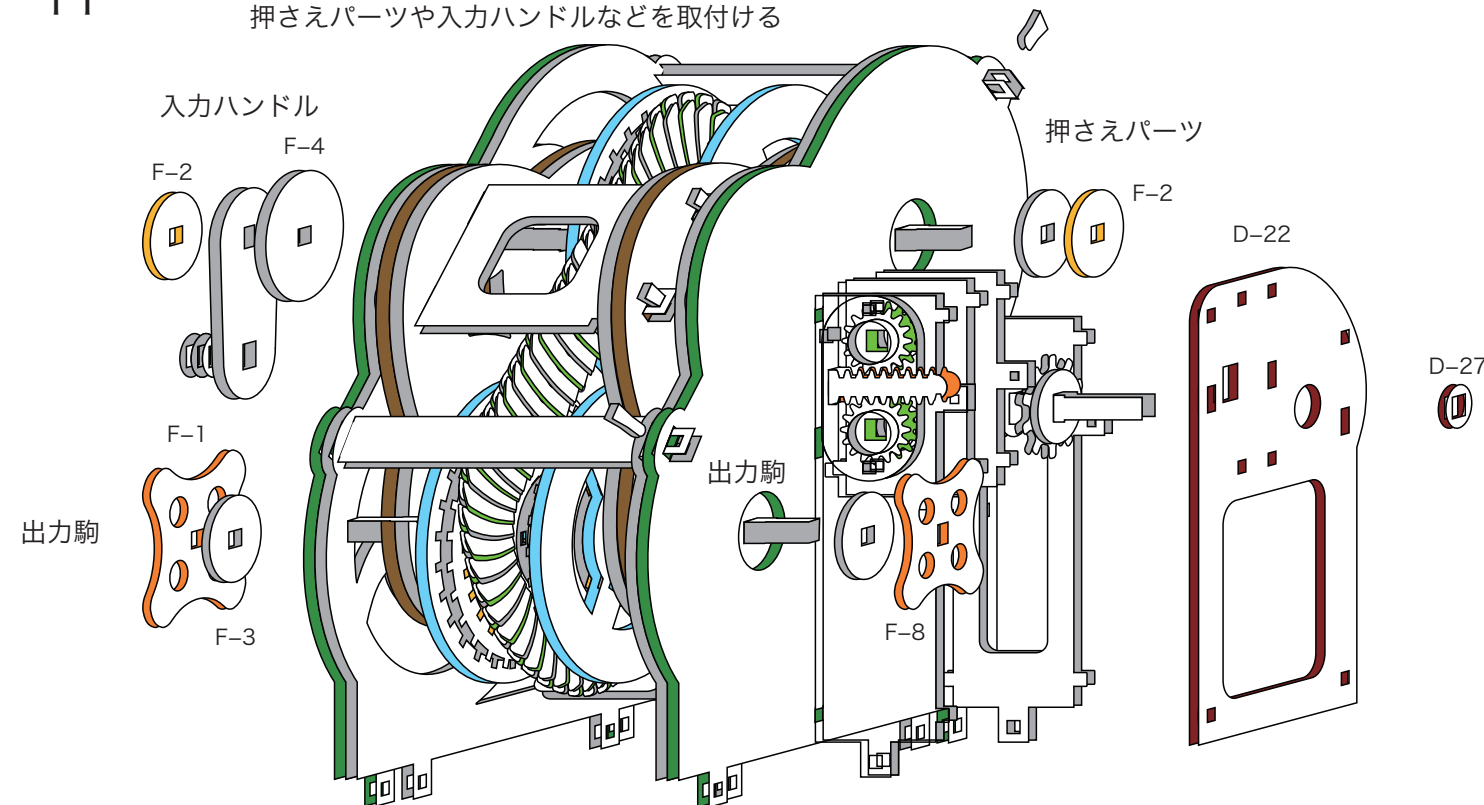
12

機械部カバーを突起部に差し込みクサビ小 F-26 で固定してから
押さえコマとダイヤルを軸にセットする

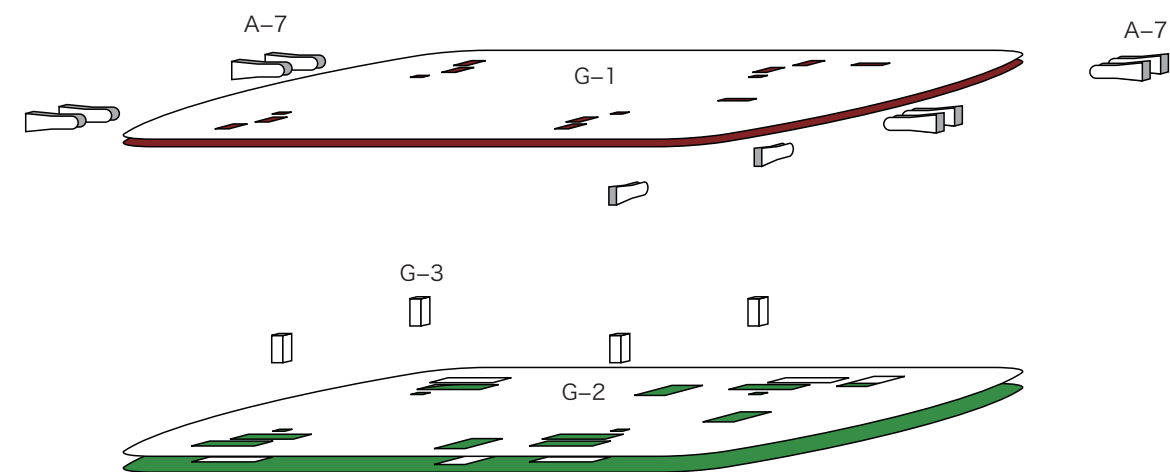


11

差し込んだ側板はクサビで固定し飛び出している4本の軸にはそれぞれの位置に
押さえパーツや入力ハンドルなどを取付ける



ベースプレートに本体の突起を差し込んで裏側にでた角穴にクサビを差し込み固定する



ベースプレートと台座は4本の角ピンで固定する